

平成 26 年秋季全国火災予防運動の実施

平成 26 年 11 月 9 日（日）から 11 月 15 日（土）まで
『平成 26 年秋季全国火災予防運動』が実施されます。

1 全国統一防火標語

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』

2 目 的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

3 重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災防止対策の推進
- (3) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (4) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (5) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

【参考資料】

別添 平成 26 年秋季全国火災予防運動の重点目標等

【広報資料】

資料 1 「平成 26 年秋季全国火災予防運動ポスター」（一財）日本防火・危機管理促進協会

資料 2 「住宅用火災警報器とりかえ推進リーフレット」（一社）日本火災報知器工業会

資料 3 「寝たばこ防止広報ポケットティッシュ折り込み」（一社）日本たばこ協会

資料 4 「高層共同住宅における防災物品に関する広報リーフレット」（公財）日本防災協会

資料 5 「製品火災広報リーフレット」 消費者庁・消防庁・経済産業省

※ 各広報資料の詳細等については、各協会等にお問い合わせください。



【問い合わせ先】

消防庁予防課 福井課長補佐・増沢係長

TEL : 03-5253-7523

FAX : 03-5253-7533

平成 26 年秋季全国火災予防運動の重点目標等

1 重点目標及び効果的と考えられる具体的な推進項目

(1) 住宅防火対策の推進

- ア 住宅用火災警報器の設置の徹底及び適切な維持管理の周知
- イ 住宅用消火器を始めとした住宅用防災機器等の普及促進
- ウ たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
- エ 防災品の普及促進
- オ 消防団、女性（婦人）防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
- カ 地域の実情に即した広報の推進
- キ 高齢者等の要配慮者の把握や安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進

(2) 放火火災防止対策の推進

- ア 放火火災に対する地域の対応力の向上
- イ パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
- ウ 効果的な放火火災被害の軽減対策の実施

(3) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

- ア 防火管理体制の充実
- イ 避難施設等及び老朽化消火器を始めとする消防用設備等の維持管理の徹底
- ウ 防災物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
- エ 防火対象物定期点検報告制度及び防災管理点検報告制度の周知徹底
- オ 違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
- カ ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底
- キ 表示制度及び公表制度の取組の推進
- ク 高齢者や障がい者等が入居する小規模福祉施設における防火安全対策の徹底
- ケ 有床診療所・病院等における防火安全対策の徹底

(4) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報の周知徹底

(5) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

- ア 催しを主催する者に対する指導
- イ ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
- ウ 火気器具を使用する屋台等への指導

2 地域の実情に応じた重点目標の設定

上記のほか、各地域の消防本部においては、当該地域における火災発生状況、火災特性、消防事情等に応じた運動を展開します。

各地域における運動の詳細等については、各都道府県又は各消防本部にお問い合わせ下さい。

3 その他

気象条件等の関係から下記の道県においては時期をずらして実施しています。

- ・北海道 10月15日から10月31日まで
- ・青森県 10月20日から10月26日まで
- ・秋田県 11月2日から11月8日まで

制作 一般財団法人日本防火・危機管理促進協会 後援 消防庁 全国消防長会

秋の全国火災予防運動
11月9日～11月15日

備えよう!

住宅用火災警報器

もういいかい
火を消すまでは
まあただよ

広瀬すず

このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

 あなたに夢を。街に元気を。
クオチン 宝くじ

平成 26 年秋季全国火災予防運動ポスター（モデル：広瀬 すずさん）

10年たったら、 とりカエル。

お宅の火災警報器の話です。



住宅用火災警報器は、

10年を目安に、とりカエル！

わが家と家族を守る基本です。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせは

フリーダイヤル **0120-565-911**

受付時間：月曜日から金曜日までの9時～17時（12時～13時を除く）



一般社団法人 日本火災報知機工業会 TEL.03-3831-4318 FAX.03-3831-4365 <http://www.kaho.or.jp>

火災報知機工業会 検索

住宅用火災警報器は、 10年を目安に交換を おすすめします！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感じしなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。

New

Old



〔設置時期を調べるには〕

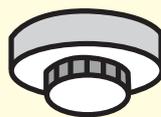
火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

新しい火災警報器に交換したら！

本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。



これから10年間、
また安心を見守るよ！



記入例
設置年月 2014年9月

●取扱説明書は、大切に保管してください。

定期的に作動確認し、音を聞きましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

●定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

ピピ、
ピーピーピー



ピーピーピー
火事です



注)警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



●それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

❗
ご注意ください

- 火災警報器の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご覧ください。
- お手入れや作動確認は、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。
- 捨てる際は、本体と電池を別にして捨てましょう。お住まいの各自治体が定める条例に従って廃棄してください。

一般社団法人 日本火災報知機工業会

〒110-0016 東京都台東区台東 4-17-1 偕楽ビル(新台東)

無断複製禁止 H26.9.500.000 INE

Q

住宅火災により
死亡事故が発生した原因で
最も多いのは…?

(こたえは中面に。)



一般社団法人 日本たばこ協会 全国たばこ販売協同組合連合会
後援: 消防庁 全国消防長会

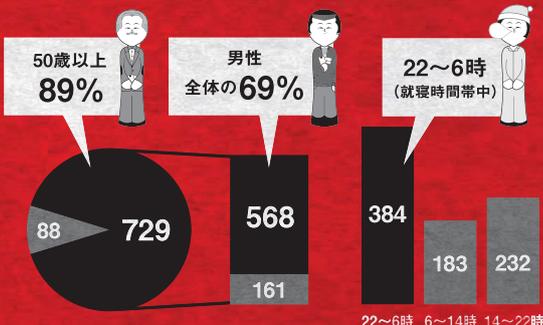
A

「たばこ」です!

亡くなった方のうち特に多いのは…

- 50代以上の男性
- 就寝時間帯中





22~6時 6~14時 14~22時

たばこ火災における死者・その状況 (平成21~25年 単位: 判明人数)

寝る前は たばこの (ヒ) (ケ) (シ) 忘れずに

大切な命を守るための3カ条

1. ふとんで吸わない。
2. 吸った後は必ず消火。
3. 消えたか再確認。



やめよう、寝たばこ!

高層共同住宅(高層マンション)にお住まいの皆様へ

防災物品の使用が義務づけられています!

高層建築物※にあたる共同住宅では、火災予防のため、**居住している階数に関係なく**、カーテン、じゅうたんを使用する場合は、防災物品の使用が消防法で**義務づけ**られています。防災物品ラベルを確認しましょう!

(※高層建築物とは高さ 31m を超えるものをいいます。概ね 11 階建て以上の建築物が該当します。)

カーテン



じゅうたん



防災物品には、○の近くに**防災物品ラベル**がついています。

消防庁登録者番号

防 災

登録確認機関名

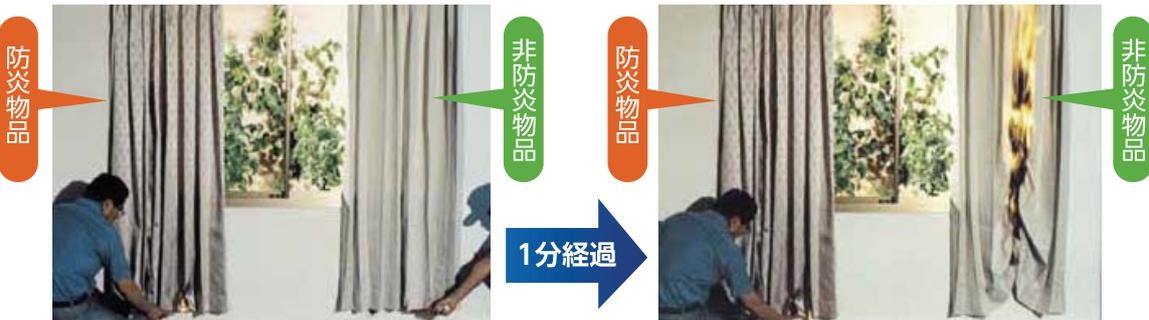
公益財団法人 日本防災協会

防災物品ラベルの例

カーペット、下げ丈がおおむね1m以上の布製ののれん、人工芝なども防災物品に該当します。詳しくは、お近くの消防署におたずねください。

燃え方の違い(カーテンの例)

カーテンを着火して1分経過した状況です。防災物品のカーテンは発火していません。



防災製品(防災性能のある寝具、エプロンなど)は、消防法による使用は義務づけられていませんが、使用を推奨しています。

防災製品には**防災製品ラベル**が付いていますので、確認しましょう!

詳しくは、お近くの消防署または(公財)日本防災協会

(<http://www.jfra.or.jp>)におたずねください。



防災製品ラベルの例

防災製品



エプロン



アームカバー



寝具



二輪車用ボディカバー

燃え方の違い(寝具の例)

たばこが原因で出火した場合の例です。
防災製品は穴が開く程度で消えています。



防災製品

非防災製品

火災による死者を減らすために、**防災物品** や **防災製品** を使いましょう。



本 部 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-1-5 共同ビル 9F..... Tel.03-3246-1661(代)
Fax.03-3271-1692
(本 部 直 通) 総務部(総務・経理・広報)..... Tel.03-3246-1661
技術部(防災性能試験受付・試験番号登録・再登録・防災製品の認定・防災関係の各種相談)..... Tel.03-3246-0624
管理部(防災表示者登録・防災品ラベル交付・防災加工専門技術者講習会業務)..... Tel.03-3246-1663
北海道事務所 : 〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目4-1 サン経成ビル..... Tel.011-222-3928
Fax.011-232-2545
名古屋事務所 : 〒460-0015 名古屋市中区大井町 3-15 日重ビル..... Tel.052-321-4344
Fax.052-321-4343
京 都 事 務 所 : 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下ル大坂町 391 第10長谷ビル..... Tel.075-353-4675
Fax.075-353-4676
大 阪 事 務 所 : 〒540-0011 大阪市中央区農人橋 2-1-30 谷町八木ビル..... Tel.06-6947-8844
Fax.06-6947-8846
九 州 事 務 所 : 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-10 福岡県消防会館..... Tel.092-271-4525
Fax.092-284-6350

協会ホームページ : <http://www.jfra.or.jp>

以下4つの リコール製品を 探しています。



以下のリコール製品を見つけた場合は、すぐに

- 製品の使用を停止してください。
- メーカー等各社へご連絡してください。

電気ストーブ

サンファン
燦坤日本電器(株)



問い合わせ 0120-600-527

電子レンジ

岩谷産業(株)、小泉成器(株)



問い合わせ

岩谷産業株式会社: 0120-009-930

小泉成器株式会社: 0120-551-494

石油ストーブ

販売元:コーナン商事(株)



問い合わせ 0120-04-1910

電気こんろ

(株)萬品電機製作所(倒産)



使用を中止してください

リコール製品の詳細は、裏面をご覧ください。



リコール製品の詳細



サンフン
燦坤日本電器(株) 電気ストーブ

- 製造年：2003年～2009年
- 対象品番：TSK-5303Q・Y・Lシリーズ、FS-800W、SHQ-8、SHH-8、SHU-8、UHC-3T、UHC-9T、TSK-5328CT(2007年製)、TSK-5328CT、TSK-5328CRI、TSK-5328CRI(BW)、FS-900T
- 事故形態：出力切り替え用スイッチ接続部での接触不良により異常発熱し、出火するおそれもしくは、配線不適切で発煙・発火にいたるおそれ
- 問い合わせ：**0120-600-527**



岩谷産業(株)、小泉成器(株) 電子レンジ

- 製造年：1997年～2000年
- 対象品番：岩谷産業(株)：IM-574、IM-574S、IM-575、IM-575S
小泉成器(株)：KRD-0105、KRD-0106
- 事故形態：マイクロスイッチの接点不具合により、使用中に発煙・発火に至るおそれ
- 問い合わせ：岩谷産業(株)：**0120-009-930**
小泉成器(株)：**0120-551-494**



販売元：コーナン商事(株) 石油ストーブ

- 製造年：2010年製
- 対象品番：Alpaca(TSG-1(S))
- 事故形態：本体が転倒、又は地震時に自動消火しないため、火災につながるおそれ
- 問い合わせ：**0120-04-1910**



(株) 萬品電機製作所(倒産) 電気こんろ

- 製造年：2003年～2008年の間
- 対象品番：MDS-113RE、MDS-113REA、MDS-113REB、MDS-218RE、MDS-218REA、MDS-218REB、MDS-233RE-2、MDS-233REB-2、MDS-233RE-2W、MDS-233REB-2W
- 事故形態：外部からの電氣的ノイズ又は水分等の浸入によりスイッチが入り、こんろの上に置いていた可燃物が焼損するおそれ
- 問い合わせ：製造元が倒産しているため、使用を中止してください



本チラシ掲載の製品やメーカー各社からご案内のある製品以外にも、リコール対象製品は多数あります。事故情報やリコール製品の確認には以下サイトもご活用ください。

消費者庁 リコール情報サイト

消費者庁 リコール

検索

<http://www.recall.go.jp/>



経済産業省 製品安全ガイド

製品安全ガイド

検索

http://www.meti.go.jp/product_safety/

